

人間の血管もちぢむ

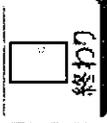


タバコを吸う人

30秒後



隣にいて
タバコを吸わない人



[前のページへ](#) | [次のページへ](#)

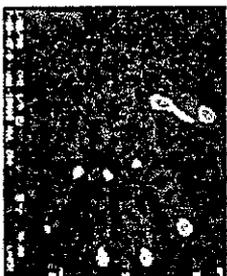
[ページジャンプ](#)

人間の血管もちぢむ

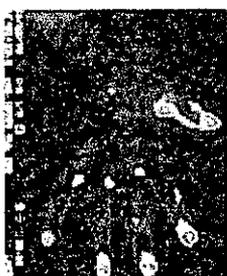
タバコを吸う人



喫煙前



30秒後



1分後



3分後



隣にいて自分は吸わない人

血流が減り、温度が下がって、青い部分が増えている

浅野牧茂 1992年



前のページへ

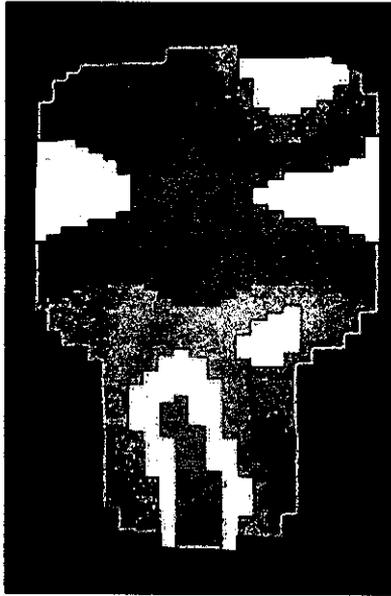
次のページへ

ページジャンプ

喫煙すると、胃の血流が減る



タバコを吸う前

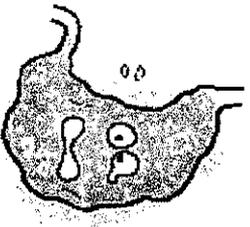


前のページへ | 次のページへ

ペー ジジャンプ

喫煙すると、胃の血流が減る

三服 吸った後

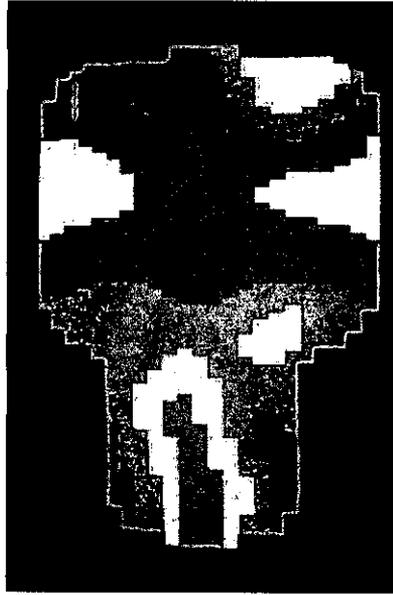


ペーシジャン

前のペーシジャン 次

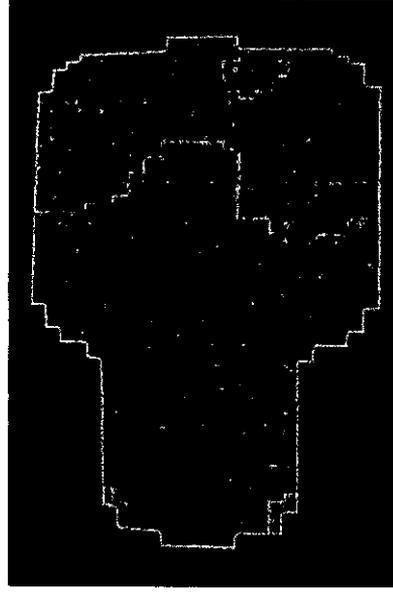
喫煙すると、胃の血流が減る

血流が減って温度が下がるようすを
胃カメラのコンピュータ画像で見た。



タバコを吸う前

血液が多く、白や赤の部分が多い。



三服 吸った後

血液が行かなくなり、青い部分が多い。

佐藤信敏 1992年

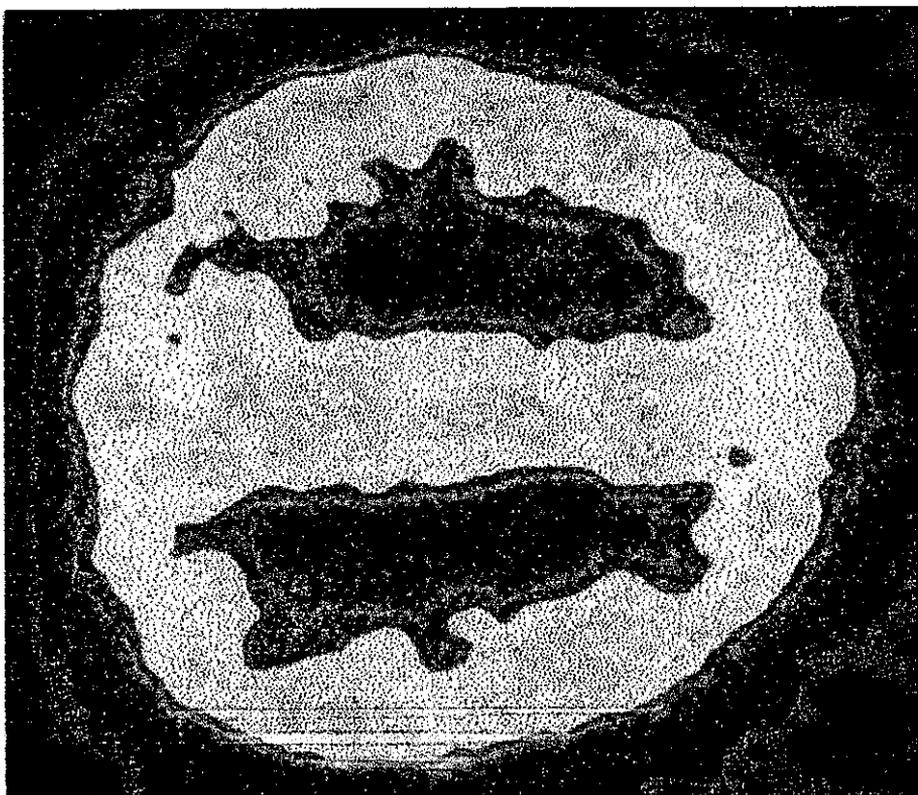


前のページへ | 次のページへ

ページジャンプ

脳にも血液が不足する

タバコを
吸っていない時

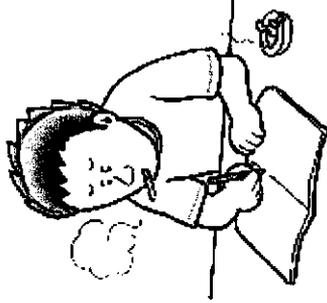
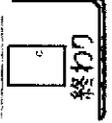


ペー
ジ
リ
ン
ク

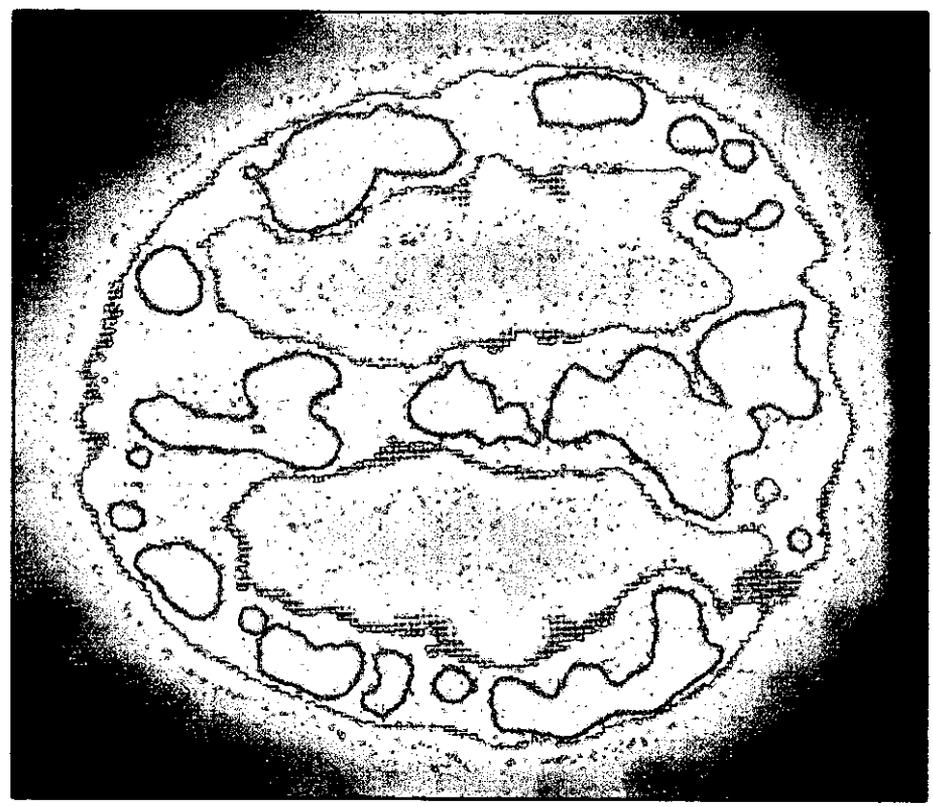
次の
ペー
ジ

前の
ペー
ジ

脳にも血液が不足する



吸った後

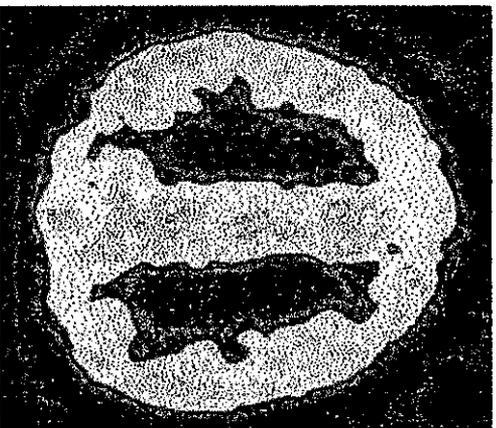


ページジャンプ

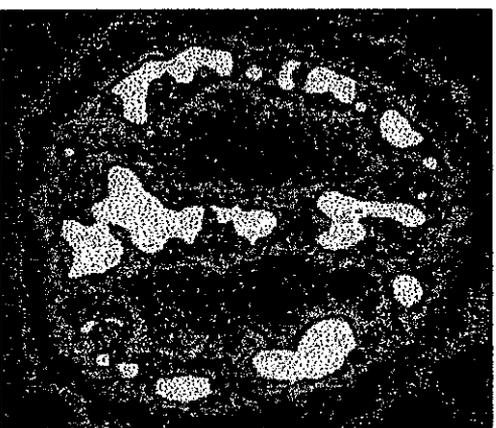
前のページへ | 次のページへ

脳にも血液が不足する

酸素欠乏と二酸化炭素の作用は
脳の活動をにぶくさせる
頭すつきりは、さつかく



タバコを吸う前
赤や黄色の部分が
多く、血流が多い

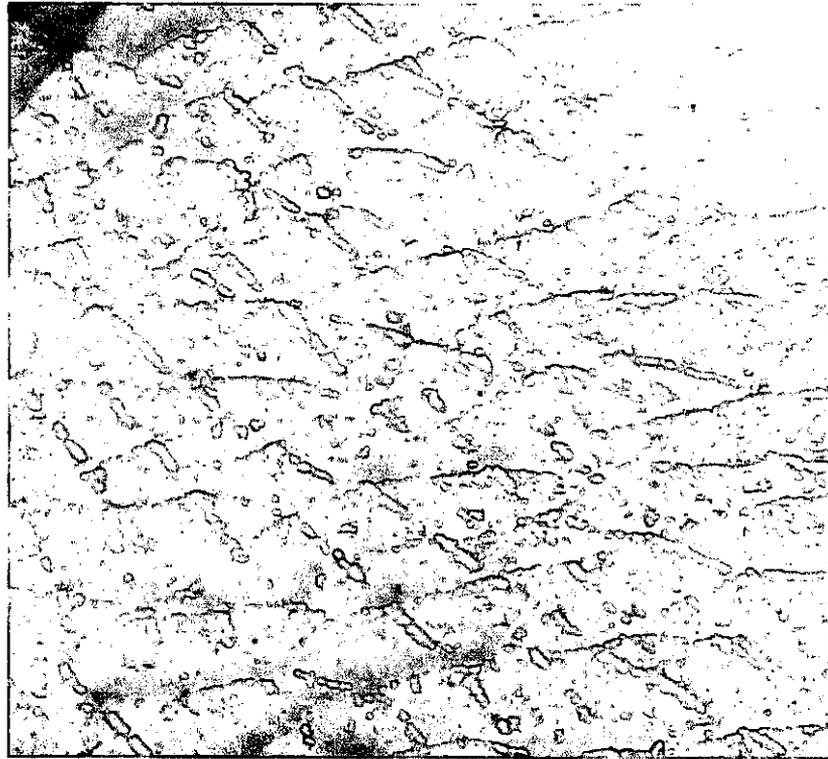


吸った後
緑や青の部分が
多く、血流不足

米倉義晴 1998年

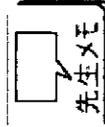


タバコはお肌の大敵

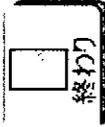


つやがあってしわが少ない

健康な人の皮ふ



先生メモ

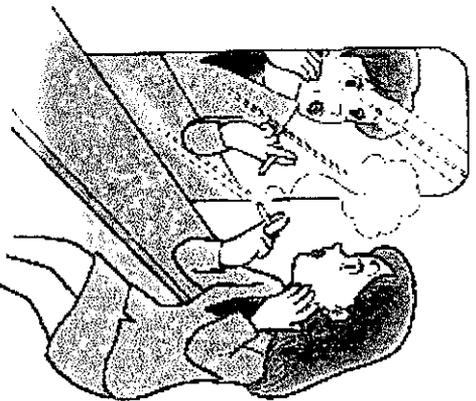


終わり

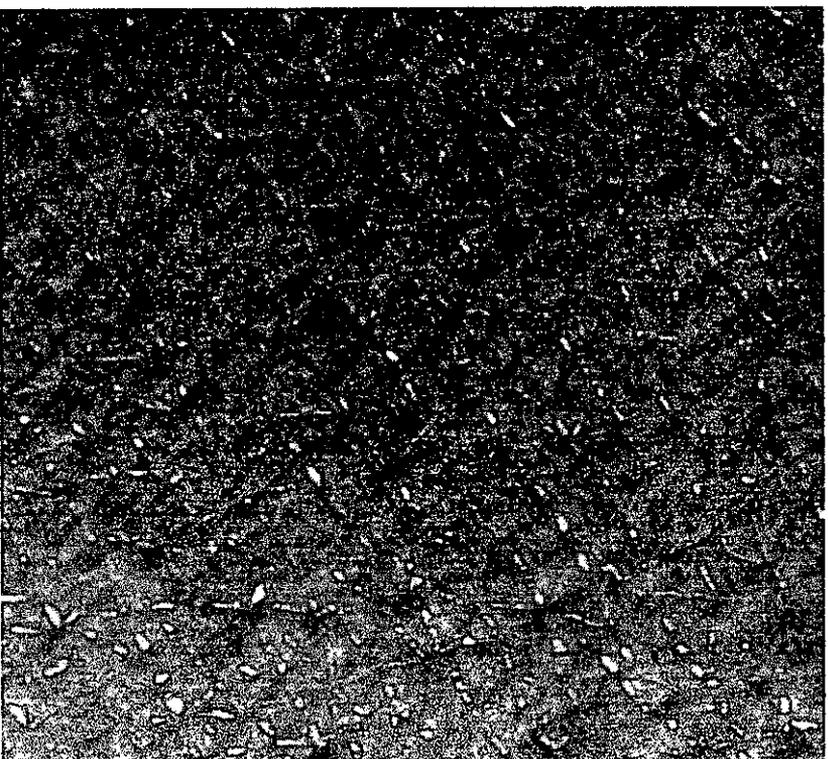
前のページへ

次のページへ

タバコはお肌の大敵



タバコを吸って
いる人の皮ふ



いろがくすみ、しわが多い



前のページへ 次ページへ

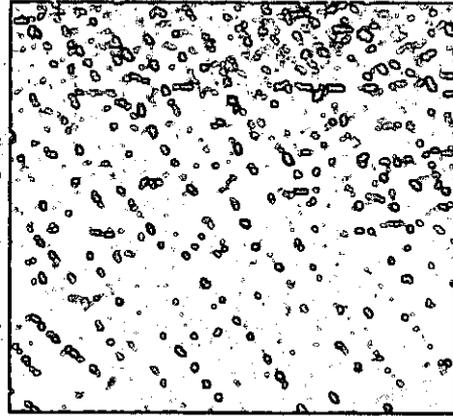
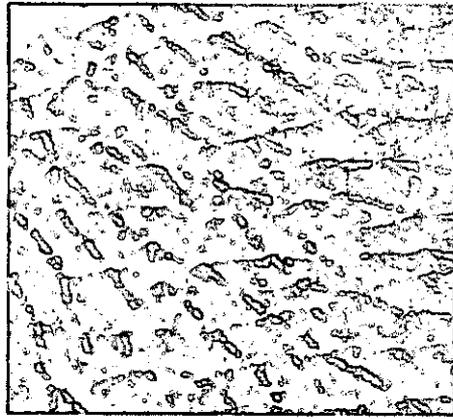
ページジャンプ

タバコはお肌の天敵



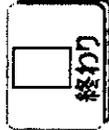
- ・血流が減る
- ・栄養が不足する
- ・ビタミンCがなくなる

・肌は老化
平均して5~10年
ふけて見える



健康な人の皮ふ

タバコを吸っている人の皮ふ



前のページへ

次のページへ

タバコなしでは生きられない



前のページへ 次のページへ

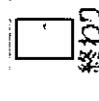
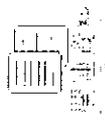
ページジャンプ

開連資料

先生メモ

終わり

第3節 タールの作用



前のページへ

次のページへ

ページジャンプ

終了

毎日がんを育てる

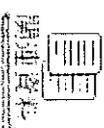
タバコを吸わなかった
人の肺



1日20本20年吸い
続けた人の肺



1日1箱吸う人は1年で、コップ1ばいのタールが体にとまる



前のページへ

次のページへ

ページジャンプ

タールは体中にとどく



タールの沈着した歯



歯肉がん

がんの原因となるタールは鼻、口、のど、気管、肺などの呼吸器だけでなく、食道、胃、腸などの消化器
'宮や、膀胱、子宮にまで届き、細胞をいためたり、発がん物質、がん促進物質を運んできます。(参考
資料6)



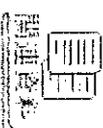
前のページへ

次のページへ

ページジャンプ

喉頭がんは完全なタバコ病

97%はタバコが原因とされている。



先生メモ

喉頭(こうとう)がんは、タバコを吸わなければいけないと書かれても、いまだにのどがんです。手術して命をとりとめても、声を失います。鼻や口から呼吸できなくなると、のどの下に開けた穴から呼吸します。声を出す場合は、食道からゲップを出すようにして音を出すか、または先のビデオで見たように、発声機械を使って話します。

前のページへ

次のページへ

ページジャンプ



肺気腫を知っていますか



正常な末梢気道(造影)



X線投影図

肺気腫の末梢気道(造影)

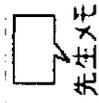


実物

気管支の先端の肺胞が右のように
こわれて酸素の取り入れができない

正常な肺は細かく枝分かれした気管支の先端(末梢気道)に肺胞という小さな袋があり、空気中の酸素をここで血液中にとり入れます。
この気管支の先が煙に痛めつけられて、少しずつこわれ、写真のように肺胞が大きくなり、こわれたものを肺気腫(はいきしゅ)と言います。呼吸が苦しく、酸素ボンベを使わなければ、生活できなくなります。
こうなってしまうのはタバコを吸っていても、手術で肺を切り取っても、呼吸は楽にはならないのです。

中々出来



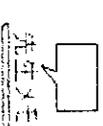
前のページへ

次のページへ

ページジャンプ



第4節 —酸化炭素の作用—



前のページへ

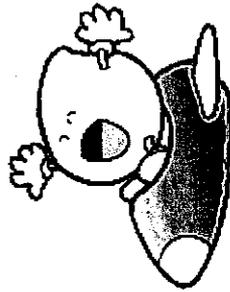
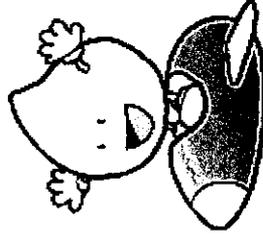
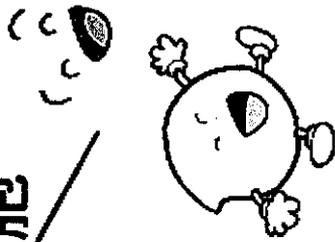
次のページへ

ページジャンプ

酸素は一人で歩けない



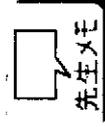
細胞



酸素



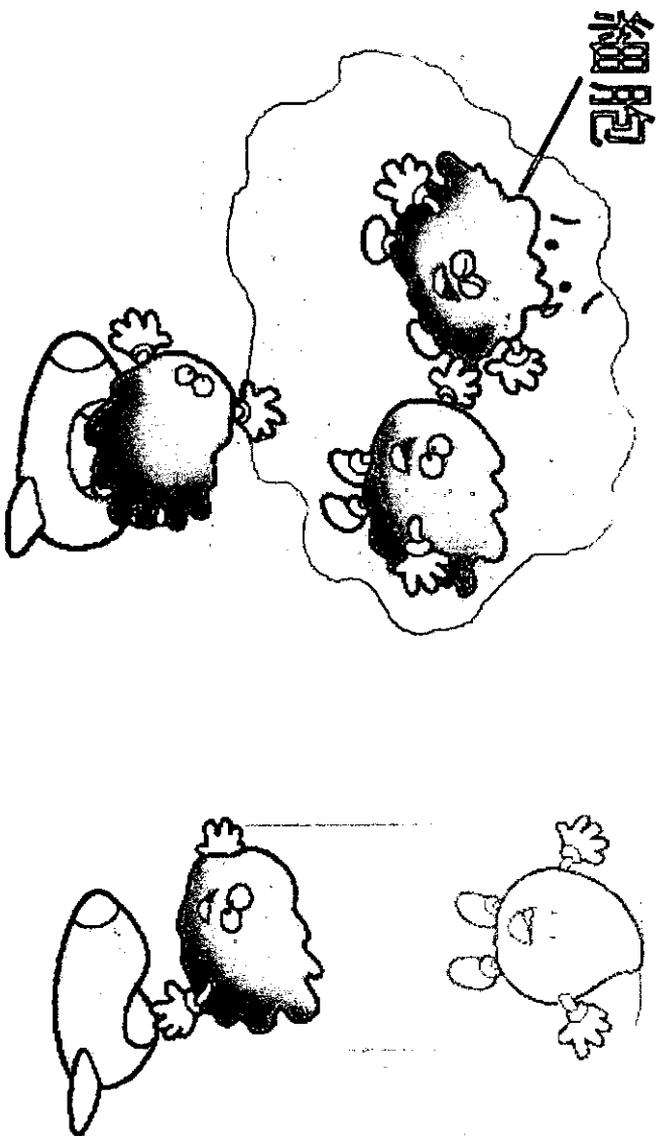
ヘモグロビン



前のページへ | 次のページへ

ページジャンプ

酸素は一人で歩けない



先生先生

呼吸によって肺に入った酸素は、血液中のヘモグロビン(赤血球)に乗って体中の細胞に届きます。酸素が不足すると体全体の活動が鈍くなり、酸素が一定時間切れると細胞の働きは破壊されて、もとにもどりません。酸素は脳にとって、特別重要なものです。

続き

前のページへ

次のページへ

ページジャンプ

終わり

先生先生